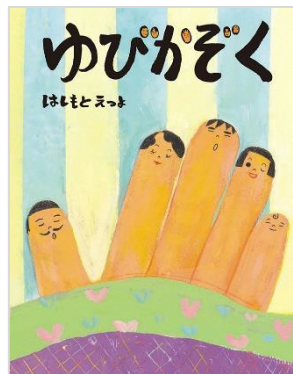


時津町は「^{うちどく}家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ようじむ 幼児向け 2024年^{ねん} 秋号^{あきごう}



「ゆびかそく」

はしもと えつよ/作・絵（ニコモ）

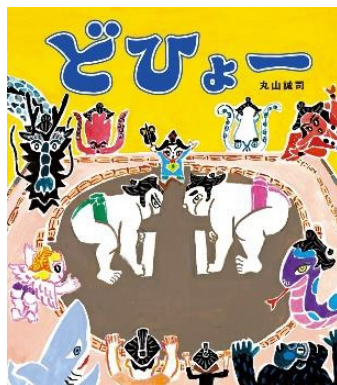
ぼくのゆびは、とってもなかよし^{にんかそく}5人家族。お父さん、お母さん、おにいさん、おねえさん、あかちゃんの5人^{にん}は、いつもいっしょ。おや！おにいさんのかおに、おえかきのよごれがついている。おねえさんは、ばんそうこうのようふくをきいているよ。あれれ？おとうさんはどこに行っちゃったのかな？みんなでさがしてみたら…。

とってもすてきなゆびかそく。みんなのゆびかそくはどんなおはなししているかな？

^{うちどく}家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



「どひょう」

丸山 誠司/作（絵本館）

ある日^ひ、「どひょう」がいなくなっちゃった！おすもうさんたちは、びっくりぎょうてん。

なんと「どひょう」は、うみのなかにいました。そこへさかなたちがあつまってきた、すもうをとりはじめました。たこといかのしょうぶ、どちらがかつのかな？

つぎに「どひょう」が、やまにのぼると…。



「もりのかくれんぼう」

末吉 暁子/作 林 明子/絵（偕成社）

公園^{こうえん}でお兄ちゃん^{にい}と遊んだ帰り道、けいこが近道^{ちかみち}をしようと生垣^{いけがき}をくぐると、見たこともない大きな森の入口^みに立っていました。やがて、枝や木の葉と同じ色をした男の子^{おとこ}「もりのかくれんぼう」があらわれて…。森の中には、たくさんの動物^{どうぶつ}がかくれていますよ。みんなも一緒にみつめてみよう！



「ぼうやはどこ？」

アン・ハンター/さく 橋本 あゆみ/やく（化学同人）

ある日^ひのこと、きつねのパパがふと気がつくと、ぼうやがいません！ママに聞いてもわかりません。パパは、ぼうやをさがしにでかけました。まるたのなかにも、水^{みず}のなかにもぼうやはいません。見つかるのは、ほかの動物^{どうぶつ}ばかり…。おーい！ぼうや。どこにいるの？

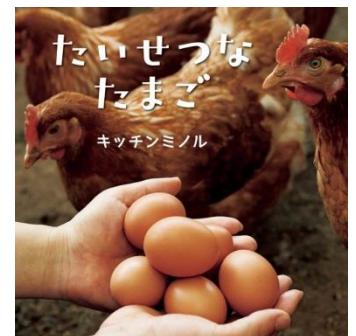
何度も繰り返して読みたくなる、とってもかわいらしい絵本です。



「かんでんちとうちゃん」

チョン スンベ/作 カン インスク/作
鈴木 沙織/訳（化学同人）

かんでんちとうちゃんは、おもちゃのきょうりゅうを動かしたり、げんかんのかぎをしめたりと毎日大いそがしです。ある日、キャンプにでかけたトングとパパが大雨にあって大ピンチに！そんなときも、かんでんちとうちゃんは懐中電灯^{かいちゅうでんとう}の中で頑張っています。やっとのことでピンチを乗り越^のり切り、家^{いえ}にかえると…。



「たいせつなたまご」

キッチンミノル/著（白泉社）

みんなが大好きなたまご。たまごを生む^うのは、にわとり。にわとりは、一日にひとつしかたまごを生まないのを知っていますか？

そんな、大切なたまごを生むにわとりを、大切に世話^{せわ}をしている人^{ひと}たちがいます。みんなの食卓^{しょくたく}にたまごが届くまでを、分かりやすく追った写真絵本。

ときつちようりつときつとしょかん
発行：時津町 立時津図書館